

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぷりずむ			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 4月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 16日		～	令和7年 4月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有・連携 (職員のウェルビーイングの向上)	事前周知を意識的に行なっている 週所定勤務日数に関わらず、全職員に近況を伝達しており、 質疑応答の時間も設けている	支援や対応方法・施設の約束事に、より共通認識を持たすた めのミーティングや職員と対話する機会
2	保護者とのコミュニケーション (保護者・家族のウェルビーイングの向上)	・送迎時に最近のご様子を伺ったり、当日の施設内のご様子 で良かった面を必ず伝えている	保護者の相談事を聴く機会づくり
3	利用児童が満足できるための関わり方 (こどものウェルビーイングの向上)	・遊ぶときは一緒に目一杯遊んでスタッフも楽しむ ・「自分でする」を促す声掛けと姿勢 ・決まっている約束事(施設のルール)は守るように促す姿勢	専門職を雇用し、専門性を上げた療育を実施する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性のある、質の高い療育	機関支援事業所やスーパーバイズコンサルテーションは日々 都度でアセスメントやモニタリングができず、短期間での PDCAサイクルが実施できない	・専門職の常勤採用 ・専門職を多く雇用している他事業所への外部研修
2	保護者が参加する研修会等の機会がない	日々の業務、制度に則った事業運営を行なうことを優先して いるため、時間的余裕がない	・専門職の常勤採用を図り、業務分担・役割を任せる ・外部講師事業所とのコネクション
3	地域との繋がり	市内の他放デイとは関わったり連携したり、共催でイベント を実施しているが、放課後児童クラブや児童館との交流がな い	他事業所でも類似した結果がでている。協議会の議案として 提出する